

Title	新年のごあいさつ
Author(s)	笹井, 康典; 相良, 武彦; 巽, 陽一 他
Citation	makoto. 2007, 137, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85762
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

新年のごあいさつ



大阪府健康福祉部長

菅井 康典

新年明けましておめでとうございます。
新年を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日ごろから本府の健康福祉行政に格別のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、インドネシアの大地震などの多くの災害や耐震強度偽造、児童虐待、いじめ問題など、国内外を問わず深刻な問題がクローズアップされました。また、人に健康被害をもたらす、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の流行や、O157、アスベスト問題をはじめ、府民の健康危機事象が多く発生しています。海外に目を転じますと、東南アジアを中心に高病原性鳥インフルエンザの、トリからヒトへの感染による死亡例が続くとともに、今後、これらのウイルスが、ヒトからヒトへの感染力を獲得し流行を起こす、新型インフルエンザの世界的な流行が危惧されるなど、府民の健康の安全に係る課題は山積しております。
大阪府では、府民の安全・安心の確保を最重点施策として、各種の取り組みを進めています。健康危機事象に対しましては、新型インフルエンザ対策行動計画など事象に応じたガイドラインを策定し、治療薬の備蓄をはじめとした事前準備対策を行っているところであります。今後とも、より一層の危機管理体制の充実を図り、府民の不安解消に努めていきたいと考えております。
貴協会におかれましては、永年培われてこられた防疫あるいは環境衛生対策などに関する豊富な経験や高度な技術を遺憾なく発揮され、府民が健やかに暮らせるよう、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。
最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝をご祈念いたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



財団法人 大阪防疫協会

理事長 相良 武彦

新年明けましておめでとうございます。
皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中はなにかとお力添えを頂き有り難う御座いました。本年も変わらず御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
さて、我々の暮らしに直接かかわる景気動向や、健康に不安をもたらす感染症、今年はどうなるでしょうか。旧年は1月のライブドア事件に始まる証券不祥事を因とする新興市場株の下落の影響か、世界同時株高に今ひとつ乗り切れなかった気のする我が国証券市場ですが、实体经济のほうは、今のところ、業績好調な輸出企業の設備投資に支えられ、過去57ヶ月間のいざなぎ景気を超えて景気拡大局面が続いています。米国、ユーロ圏、アジア各国の経済情勢を見る限り、今年もその流れに大きな変化はないものと思われま。しかし、企業意識調査によりますと、まだ約8割の企業が「実感なし」としている現状ではとても喜べるものではないでしょう。今年こそ、どうかその恩恵がより広く行き渡ることを願うものです。
また、高病原性トリインフルエンザに対し、世界中が監視と警戒を強める中、アジア、アフリカ諸国に於ける感染確定症例数が増加しています。新型インフルエンザのパンデミック対策については種々各国で立てられているところでありますが、そのうちの予防ワクチン開発が愈々わが国でも本格化しました。予防に勝る対策は無いと思われまので、その一刻も早い承認が待たれます。
当協会は皆様方の長年月に亘る暖かい御支援のお蔭をもちまして、今年で60周年をむかえます。60年の実績と信用を大事として、これからも防疫対策、簡易専用水道法定検査、防疫薬剤、衛生資材、ワクチン斡旋等の業務を通して皆様方の健康で快適な暮らしに奉仕する、公益法人としての努力を役職員一同続けてまいります。どうぞ重ねての御支援よろしく御願ひ致します。
今年が皆様方にとりましてより良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪市健康福祉局
医務保健総長

異 陽 一

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の健康福祉行政の推進に格段のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、日本は、急速に少子・高齢化が進展し、社会構造が変革していく時代を迎えました。このような時代の中、健康福祉行政においては、保健・福祉・医療の分野がそれぞれ十分に連携して、市民の皆様の期待に応えられるように努めていきたいと考えております。また、大阪市では、昨年策定した市政改革マニフェストの具体化をさらに推進し、積極的に市政改革に取り組んでまいります。

昨年は、国内においては、36年ぶりに狂犬病の発症が確認されたり、全国でノロウイルスによる感染性胃腸炎が爆発的に流行し、多くの方に被害が発生しました。また、国外においては、アメリカではウエストナイル熱が、韓国では高病原性鳥インフルエンザが発生するなど、依然、新興感染症の世界的な流行が危惧されており、防疫業務の重要性がより一層高まっています。大阪市では、このような危機事態へ迅速に対応していくために、健康危機管理体制の整備を進め、市民の皆様が安心して暮らせるまちをめざしてまいります。

これらの施策を推進するにあたりまして、貴協会が永年培われた防疫対策や建築物環境衛生の維持管理に関する高度な知識や技術、豊富な経験を活かされ、快適で住みよいまちづくりの推進にご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、年頭にあたり、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市健康福祉局健康部長

北 牧 昇

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、多方面において、本市保健衛生行政の推進に一方ならぬご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

昨今、わが国の景気は穏やかな回復基調でありますが、行政を取り巻く財政状況は依然として厳しいものがございます。また、少子高齢化の進展と人口減少社会の到来などが顕在化しています。

本市におきましては、昨年4月1日、政令指定都市へ移行し、大きな転換期の年となりました。府県並みに拡大する権限や財源を最大限に活かし、魅力あるまちづくりを進めるとともに、持続的な都市の発展を遂げていくことが求められています。

一方、保健衛生を取り巻く分野におきましては、日本国内で1956年以来、感染例がない動物由来感染症（狂犬病）が、昨年、フィリピンで旅行中犬に噛まれたことが原因で、京都と横浜で2件発生しております。今後、これらの対策をはじめとして、不測の事態への対応が強く求められます。

本市といたしましても、より一層の危機管理体制の充実を図り、市民が健康に安全で安心して暮らせる「オンリーワン」のまちづくりを進めて参りたいと考えております。

貴協会におかれましては、「健康都市・堺」の実現をめざした環境の確保のため、今後とも豊富な知識、経験、高度な技術を活用していただき、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市健康福祉局

健康部長 谷 山 均

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格別のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昭和42年2月1日に布施、河内、枚岡の3市の合併により現在の東大阪市が誕生してから、今年で40年の節目の年を迎えることとなります。本市40年の歴史と新たな時代への責務をしっかりと受け止め、さらなる一歩を踏み出してまいります。これを機に「市民の創造力にあふれたまち」づくりを目指して、すべての市民が安心してくらすことができる、未来へと発展するまちを、市民とともに創造していきます。

国においては、高病原性鳥インフルエンザのトリからヒトへの感染事例やヒトからヒトへ感染したと疑われる事例の報告など、発生の世界的な拡大・増加を背景に、H5N1型のインフルエンザを指定感染症と定めるなど、その発生およびまん延の防止について一層の取組の強化が図られています。

本市におきましても、健康危機管理への備えを万全にするため、関係機関との連携を密にする一方、日頃からの衛生害虫の駆除、市民啓発などの対策を充実させ、防疫面での迅速な対応に向けて一層努力してまいります。

貴協会におかれましては、永年培ってこられた豊富な経験や高度な知識・技術・業績をもって、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますのご発展と、会員の皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



高槻市健康部長

吉 里 泰 雄

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素より本市の保健衛生行政の推進にご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本市は、平成15年4月1日に中核市に移行し、民政・保健衛生・環境・都市計画などの分野で、2,300件を超える事務権限が大阪府から委譲されました。その内の半数を超える約1,300件が保健衛生分野の事務権限で、高槻市としまして新たな体制でのぞみ、本年4月で5年目を迎えることとなりました。

この間、高槻市保健所におきましては、これまで大阪府が行ってこられた専門的な業務と保健センターで実施してきました市民に身近な業務を一元化し、地域の実情に合った総合的な保健サービスを提供する拠点として、市民の健康の保持増進に全力で取り組んできたところでございます。

また、地域における健康増進計画である「健康たかつき21」を策定し、市民の健康づくりをサポートする様々な保健事業を積極的に展開しながら、「やさしさとやすらぎのある健康都市高槻」の実現をめざしております。

貴協会におかれましては、永年培ってこられた防疫あるいは環境衛生対策などに関する豊富な知識や経験、高度の技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝ご多幸を心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪府保健所長会 会長
大阪府和泉保健所 所長
岡 澤 昭 子

新年あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様方には、平成19年の新春をすがすがしくお迎えのことところからお慶び申し上げます。

旧年中は、保健所事業の推進にご理解・ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年は亥年です。いのししは十二支の一番後で、猪突猛進の四字熟語のごとく、脇目もふらず目的に向かって突き進むイメージがあります。また、あの姿形からメタボリックシンドロームと診断された、中年男性の企業戦士のイメージがあります。いのししにしたら、今更体型は変わらないし、これが本来のいのししの猪たるゆえんであると居直るでしょう。

同様に、メタボリックシンドロームの人や喫煙者に、健康づくりや生活習慣病予防の大切さを理解し、行動変容をしてもらうことの難しさを痛感します。遺伝子レベルで、たばこ依存から抜けられない人、感染症にかかりやすい人、肥満になりやすい人、病気になりやすい人等があるといわれている現在、生活習慣病改善の難しさを痛感します。

それ故、病気を早期に発見し、主治医の治療方針のもと、一病息災で病氣と仲良く・根気よく、再発悪化の防止に努める体制づくりを支援するのがより一層重要となっています。

貴協会におかれましては、これまで培われた豊富な知識・技術・業績をもって、保健所へのさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸を心から祈念しまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



財団法人
阪大微生物病研究会
理事長 東 雍

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新年をお迎えのこと心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、財団法人阪大微生物病研究会のワクチン事業の遂行に格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のトピックスのひとつに世界保健機構(WHO)の事務局長選挙があげられると思います。数回の投票の結果、日本の尾身茂氏(WHO西太平洋地域事務局長)は残念でしたが、香港出身の陳馮富珍(マーガレット・チャン)氏が当選しました。陳馮氏は1994年から2003年まで香港政府の衛生所長を務め、SARS(重症急性呼吸器症候群)対策などの指揮をとった後、WHOに転身し、新型インフルエンザなど感染症対策に取り組んできました。中国が主要な国際機関でトップの座を占めるのはこれが初めてで、今後、中国は各国が取組んでいる感染症対策の分野で大きな影響力をもつことになりそうです。

一方国内では、各地で相次ぐいじめや虐待などが深刻な社会問題となり、早急に解決すべき重要な課題となっております。この問題については感染症対策と同様で、発生の予防、早期発見等、総合的な支援が必要です。少子化が進んでいる我が国の次代を担う子どもたちのために、国民一人ひとりがより一層の理解を深め、より良い社会になるよう努力しなければなりません。

また昨年は、予防接種法施行令等の改正省令が公布・施行され、4月より麻しん風しん混合ワクチンによる2回接種(1期・2期)の導入、さらに6月には、麻しん及び風しん単抗原ワクチンの接種を公費で認める制度が復活。2期の対象者に対する予防接種も本格的に開始されるなど、接種現場では、接種する側、受ける側それぞれに混乱が生じたことと思います。

私共微研財団におきましては、昨年より新製剤棟で保存剤を含まない製品の製造に取り組んでまいり、三種混合ワクチンをはじめ、トキソイド製剤も保存剤を含まない製品に切り替えることができました。また細胞培養日本脳炎ワクチンにつきましては、追加の臨床試験を実施することとなり、今後できるだけ早期に承認されるよう鋭意努力している次第です。今後益々皆様のご要望にこたえていけるよう努めてまいります。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。